

明るく 正しく 元気よく

内子町立内子小学校



安全・安心な学校づくりを目指して

スマートフォンの普及やオンラインアプリの増加・多様化に伴い、子どもたちのネット依存が急激に増えています。小学生のネット依存が疑われる割合は、調査によって異なりますが、一般的には約 16.2%から 26.9%の範囲で推測されています。特に、最近の調査では、小学生のスマートフォン保有率が高く、依存傾向が強いことが示されています。

スマートフォンは、とても便利なツールです。手軽に使える通信機器ですが、使い方によっては、心や体への影響や依存の危険性が高くなります。小学生に特に見られる影響は、以下のように多岐にわたっています。

- ① 生活リズムの乱れ
- ② 目への影響
- ③ 筋力・体力の低下
- ④ ネットを介した人間関係のトラブル
- ⑤ コミュニケーション能力の低下
- ⑥ 見えない相手への心無い言葉



日常生活で当たり前のようにあるスマートフォンやオンラインゲームなどの過度の使用はとても危険です。学校と家庭が同じ方向を向いて指導していくことが大切です。ご家庭で気になることがあれば、遠慮なくご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。

【ゲームの付き合い方】

児童同士の会話や保護者の方との会話から、多くの児童が、ゲームの端末を持ち、ボイスチャット等で友達とやりとりをしながらゲームを行っている様子を聞きます。とてもきれいでグラフィックの画面で臨場感あふれる展開が行われる現在のゲームは楽しく、夢中になるのはよく分かります。また、家に居ながら友達とも会話ができ、仮想現実の世界ですが、同じ体験を共有することもできます。しかし、ゲームのやり過ぎによる弊害は、とても大きいように感じます。毎年、学校でも様々な形でゲームの問題点にも触れ、注意喚起や指導を行ってきておりますが、下記のような問題も実際に起きております。今一度、お子様と話し合って、使用時間を厳守するなど節度ある付き合い方ができるよう指導をお願いします。



- 長時間ゲームをすることにより、睡眠時間が減り、翌日の授業に集中できなくなる。(ゲームによる中毒性が現れ、悪いリズムの循環に陥る)
- 早くゲームがしたくて、家庭学習や日常生活の大切な活動をいい加減に済ませる。
- ボイスチャット等で相手をののしる(「死ね」「うざい」「きもい」等)ことが多くなり、学級にもそのような言葉が持ち込まれる。(攻撃性が強くなる)
- ゲーム中に対戦している友達とトラブルになり、学校生活でもトラブルが続く。
- 全く知らない人がゲームに参加して対戦するようになり、個人情報などつい伝えてしまう。
- 知らない人に「会おう」などの声を掛けられる。(絶対に会ってはいけない)
- ゲーム中のアイテムの購入(課金)が必要になり、金銭の支払いが発生する。

